

# 1 八幡ジャンクション工事

新名神高速道路と第二京阪道路とが接続する八幡JCT(仮称)では、盛土造成や橋脚工事をしています。全52基の橋脚のうち現在27基が完成し、残りの橋脚を引き続き施工していきます。



# 2 京田辺高架橋東・西(下部工)工事

木津川橋から八幡JCT(仮称)へつながる京田辺高架橋(全長約1590m橋脚全105基)の橋脚の施工と、高架橋全域の高架下整備を行います。現在橋脚20基が完成し、残りの橋脚を引き続き施工していきます。



# 3 京田辺高架橋(PC上部工)工事

京田辺高架橋全域の橋げたを担当する工事で、京田辺高架橋1590mのコンクリート桁の施工を行います。H26年1月より工事に着手しております。



# 4 木津川橋(下部工)工事

木津川を渡河する木津川橋の橋脚を造る工事をしています。木津川河川内の工事は毎年、非出水期となる10月中旬から翌6月中旬の間に行います。全16基の橋脚のうち、現在2基が完成し、残りの橋脚を引き続き施工していきます。



# 5 城陽ジャンクション工事

新名神高速道路と京奈道路とが接続する城陽JCT(仮称)では、埋蔵文化財調査が完了した箇所から盛土造成や橋脚工事をしています。全37基の橋台・橋脚のうち、現在4基が完成し、残りの橋脚を引き続き施工していきます。

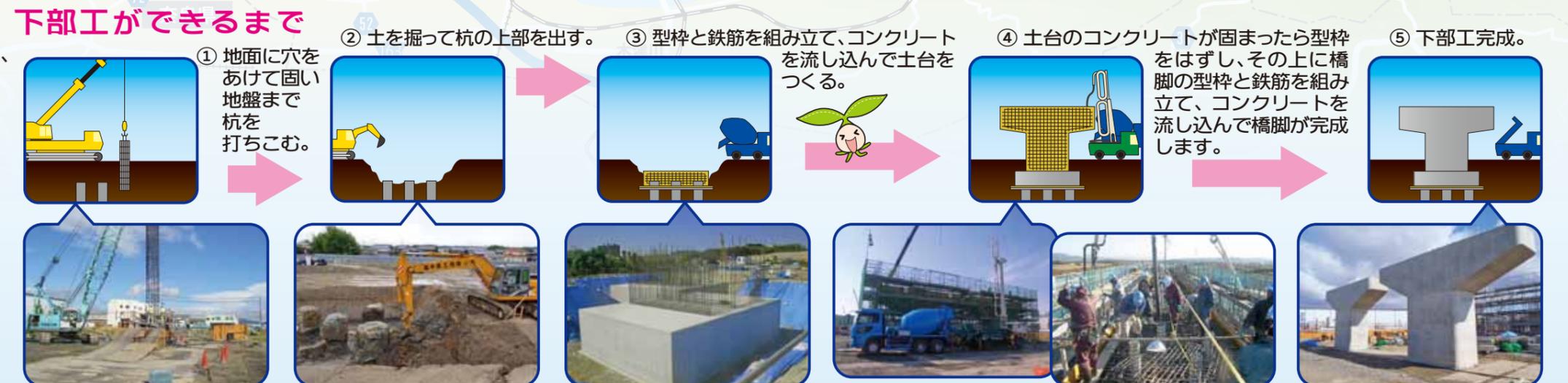
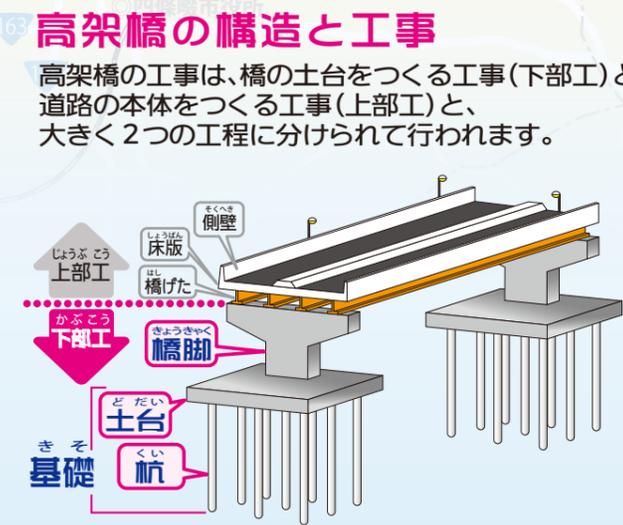


**新名神京都事務所担当区間 京都府域 17.7 Km**

- 城陽 JCT・IC (仮称) ~ 八幡 JCT・IC (仮称) 間 (平成 28 年度完成目標)
- 大津 JCT (仮称) ~ 城陽 JCT・IC (仮称) 間
- 八幡 JCT・IC (仮称) ~ 高槻第一 JCT (仮称) 間

## 『高速道路ができるまで...橋梁下部工編』

城陽JCT・IC(仮称)~八幡JCT・IC(仮称)間では、現在、橋梁の下部工を中心に工事を行っています。この区間は延長3.5kmのうちほとんどが橋梁区間となっており、その延長は約2.9km、橋梁を支える橋脚の数は全210基、橋脚を支える杭の本数は全1,856本、杭の総延長は約31,450mになります。現在までに完成している橋脚の数は53基で、杭の本数にすると454本、杭の延長は約8,570mになります。今回は、橋梁下部工の出来上がりまでをイラストと現場の写真を使って皆さんにご紹介します。



※本誌における新名神のJCT(ジャンクション)IC(インターチェンジ)構造物の名称はすべて仮称です。